

天溪 2013年「ツールドモンブラン 10日間」

第2部

今年は世界各所で集中豪雨や竜巻など異常気象による暗いニュース沢山でています。ところが今回のモンブランハイキングは連日快晴で逆の常気象のようでした。シャモニ入りしてから帰国まで9日間、連日晴れて一日中 山の頂を見ることが出来たのはこの十年来初めてと思います。



(シェクルイの科尔手前9/1日)

○エリザベッタ～エレナ

シャモニで見た週間天気予報によればこの日は曇り後雨でしたがラッキーにも晴れ。コンバル湿原上部からシェクルイの科尔に続く稜線は険しい表情のモンテビアンコ（モンブランの伊名）が眺められる筆者お気に入りのコース。夜中の強風は相変わらずでしたが、湿原から高度を稼ぐにつれて治まり絶好のモンテビアンコ日和に。まあ、一寸雲が湧いたのはお愛嬌で、写真写りを気にしたかのようでした。



(綿毛 9/1日)





○エレナ～トリアン

朝焼けと共にスイス側から厚い雲が流れ怪しげな空模様。しかし、フェレの科尔中腹まで登ると雲は姿を消しグランドジョラスが槍ヶ岳のように突き出てきました。昨年この辺りは積雪 15Cm などと回想しながら科尔を越えてフェレ村へ下り、フランス・イタリア・スイスの三国境を持つモン・ドランを見ながら昼食。その後、セントバーナードバス&電車を乗り継ぎマルティニーへ、そしてポストバスでトリアン村へと、一般交通機関をのりどきな旅を続けました。



(グランドジョラス 9/2 日)



○トリアン～シャモニ

長くも有り短くも有ったモンブランの旅と皆様の感想。一寸ハードな設定だったかなと筆者の感想。いずれにしても全員無事ル・トゥールへ到着。今夜は最後の山小屋フレジュール。外見は良いとは言えませんが、素朴で山小屋の雰囲気とする所。ドミトリーが中心で日本の皆様には少々不向きかも知れませんが、料理は美味しくシャモニ越しのモンブラン、グランドジョラスが美しく映えます。ここのお嬢さんは愛知県の高校に 10 ヶ月滞在し

たとか。日本語で会話ができ皆様大喜びでした。今度、一度泊まってみては如何でしょうか。



(バルムのコル9/3日)



次の天溪ツアーは所を東のオーストリア・イタリアに移し「チロルとドロミテハイキング10日間」をお伝えします。

記 天溪 赤沼